

## 3 . 自己評価の実施手順

ここでは、「2.2 自己評価システムの構成 (p10)」で示したフロー図の中の自己評価を実施する上で必要な手順についての説明をしています。

### 3.1 廃棄物に関する基本方針

あなたの会社の事業活動と廃棄物との関わりを認識し、廃棄物に関する目的、目標、行動等の基本方針を定め、文書化して下さい。

#### まず、基本認識を行きましょう

- ・どのような事業活動を行っていますか？
- ・行っている事業活動は、廃棄物とどのような関わりがありますか？
- ・事業活動と廃棄物との関わりのは大きさは、どの程度ですか？

基本認識（事業活動の性質、規模、及び廃棄物との関わり等）に対して、基本方針が妥当であることが必要です

#### 以下の項目を盛り込むようにして基本方針を定めましょう

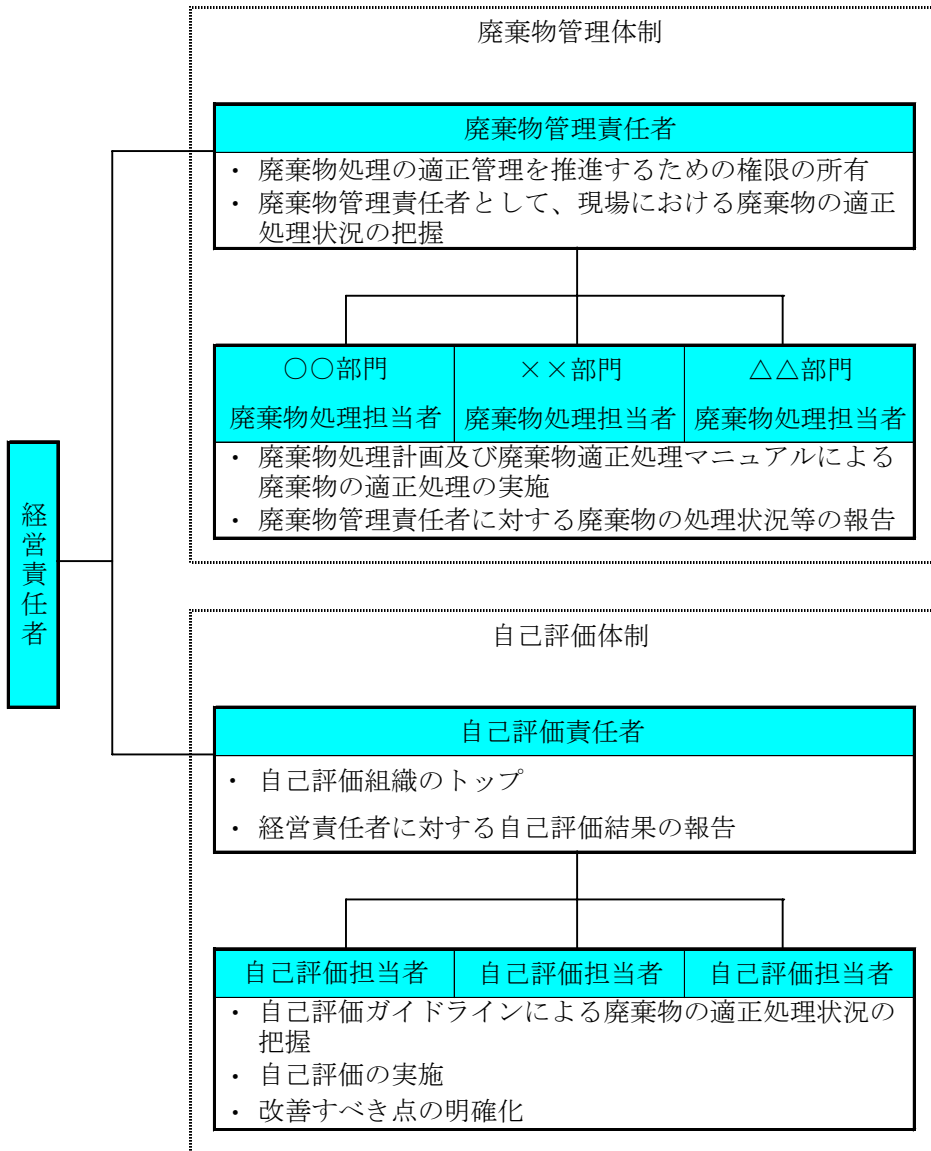
- ・継続的改善
- ・汚染の予防
- ・廃棄物に関する法規制の遵守
- ・あなたの会社組織が定めた要求事項の遵守
- ・廃棄物に関する目的、目標の設定、及びその見直しについて

#### 留意点

- ・基本方針は、原則として経営責任者が定めるようにして下さい。
- ・基本方針は、以後、作成する「廃棄物処理計画」「廃棄物適正処理マニュアル」や自己評価の実施と一貫性が確保されるようにして下さい。

### 3.2 自己評価実施体制の整備

廃棄物の適正処理を行うための社内体制（廃棄物管理体制）を整備し、廃棄物管理責任者を定めて下さい。次に、廃棄物の適正処理に対しての自己評価を実施する社内体制（自己評価体制）を整備して下さい。



体制と体制の責任者、各担当者の名称は、自由に定めて下さい。

### 3.3 基礎情報の収集

廃棄物処理に係る自己評価を行うために、以下の基礎情報を収集して下さい。

- ・ あなたの会社の出荷額
- ・ 廃棄物の発生及び処理状況
- ・ 廃棄物の発生量と処理量の実績
- ・ 廃棄物処理ルート
- ・ 法的要求事項等

あなたの会社の出荷額はいくらですか？

あなたの会社の事業活動のどの過程で、どのような廃棄物が発生しますか？  
発生した廃棄物はどのような方法で処理されていますか？

あなたの会社で発生する廃棄物の発生量、有償物量、最終処分量等を把握しましょう。  
(1. 廃棄物の現状について p5 参照)

廃棄物はどのようなルートで処理されていますか？  
自己処理量とその処理方法はどのようになっていますか？  
委託処理量とその処理方法はどのようになっていますか？  
委託業者はどこですか？

あなたの会社で発生する廃棄物に係る法的要求事項はどのようなものがありますか？  
あなたの会社において廃棄物処理に関する決まり等はありませんか？

### 3.4 目標値の設定

廃棄物の発生量及び減量化率について、目標値を定めて下さい。

#### 廃棄物発生量と減量化率の実績の確認

廃棄物の種類ごとに、出荷額あたりの発生量と減量化率の実績を確認して下さい。

(1. 廃棄物の現状について p4~7 参照)

#### 目標達成年次の設定

何年計画で目標を達成するか決めて下さい。

(このガイドラインでは、計画期間を基本的に3年と考えています)

#### 目標を設定する廃棄物(自己評価対象廃棄物)の設定

あなたの会社から発生する廃棄物の内、どの廃棄物に対して減量化、リサイクルの推進を行い、出荷額あたりの発生量と減量化率の目標値を定めるか決めて下さい。

#### 目標値の設定

自己評価対象廃棄物に対して、出荷額あたりの発生量と減量化率の目標値を定めて下さい。

### 3.5 廃棄物処理計画の作成

「3.1 廃棄物に関する基本方針」「3.2 自己評価実施体制の整備」「3.3 基礎情報の収集」「3.4 目標値の設定」をまとめて、文書化して下さい。  
次に、目標を達成するために廃棄物の減量化、リサイクルに関する実施計画（目標達成方策）を定めて下さい。

#### 廃棄物処理計画

##### ここまでの検討結果のまとめ

「3.1 廃棄物に関する基本方針」「3.2 自己評価実施体制の整備」「3.3 基礎情報の収集」「3.4 目標値の設定」をまとめて、文書化して下さい。

##### 実施計画（目標達成方策）

##### 減量化、リサイクルに関する行動計画の作成

目標を達成するために、廃棄物の減量化、リサイクルに関して実際に行う行動を定めて下さい。

減量化、リサイクルに関する実施計画は、以下に示すような内容等を検討し、その具体的な行動を定めて下さい。

- ・単位生産量あたりの廃棄物発生量
- ・工程での単位生産あたりの原材料使用量
- ・工程での原材料再利用率
- ・廃棄物の発生量に対する再利用率

##### 目標達成までのスケジュールの作成

目標達成年次までの途中の各年度で、目標値の何%の達成を目標としていくか計画して下さい。

また、減量化、リサイクルに関する行動を、どの年度にどの程度行っていくかも計画して下さい。

## 3.6 廃棄物適正処理マニュアルの作成

### 3.6.1 廃棄物処理実施計画の作成

廃棄物処理計画を実施するための方法、手順、判断基準等を具体的に定めて下さい。

#### 廃棄物処理実施計画

##### 廃棄物処理の見通しをたてて下さい。

- ・どのような廃棄物が、事業活動のどの過程のどの場所から発生しますか？
- ・どれだけの量の廃棄物が発生する見通しですか？
- ・発生した廃棄物はどのようにして処理しますか？
- ・廃棄物処理の担当者は？
- ・委託処理を行う場合、委託先はどこですか？

##### 廃棄物処理の流れを見込んで下さい。

上記の廃棄物処理の見通しから、廃棄物種類ごとに、発生から処理・処分の流れが分かるように、処理フロー図を作成して下さい。

##### 法的要求事項等のチェックリストを作成して下さい。

法規制等の法的要求事項や、あなたの会社の廃棄物に関する決まり等に対して、廃棄物処理が適正になされているかチェックリストを作成し、チェックできるようにして下さい。

##### 緊急時の対応を定めて下さい。

事故や緊急事態が起こる可能性とその影響を検討し、緊急時の対応を定めて下さい。

##### 廃棄物処理を実施して下さい。

上記で作成した廃棄物処理実施計画に従って、廃棄物処理を実施して下さい。

### 3.6.2 廃棄物処理関係文書の管理

廃棄物処理についての情報伝達方法と、文書管理について定めて下さい。

廃棄物処理に関する情報伝達方法を定めて下さい。

- ・廃棄物処理に関する情報伝達経路
- ・廃棄物処理に関する文書の回覧や配布先
- ・従業員に対する廃棄物処理に関する知識の伝達や教育訓練方法

廃棄物処理に関する文書の相互関連を整理して下さい。

廃棄物処理計画、廃棄物適正処理マニュアル、関係する法規制、記録・台帳、伝票類等の廃棄物処理に関する文書の相互関係を、この「3. 自己評価の実施手順」の構成にあわせて整理して下さい。

廃棄物処理に関する文書管理を行って下さい。

廃棄物処理に関する文書の管理台帳を作成し、文書の配布先や配布日時、改訂、最新版等が分かるようにして下さい。

文書の保管期間を設定して、その期間内の保管・管理を行って下さい。



### 3.7 自己評価の実施

目標は達成できたか、廃棄物適正処理マニュアルに沿って適正に廃棄物処理が行われているかを評価して下さい。

#### 自己評価チェックリストの作成

廃棄物処理計画で定めた目標の達成状況のチェックと、廃棄物適正処理マニュアルで規定した廃棄物の処理方法、手順、判断基準、情報伝達、文書管理等が守られているかをチェックするリストを作成して下さい。

#### チェック頻度の設定

各チェック項目について、日常的にチェックするのか、一定期間でチェックするのか決めて下さい。

#### チェックを実施して下さい

チェックリストを用いてチェックを行って下さい。

#### 不適合があれば是正あるいは予防措置を講じて下さい

チェックの結果、不適合があれば、是正あるいは予防措置を講じて下さい。  
不適合とその是正及び予防措置については、文書化して記録を残すと同時に、実施状況の確認を行うようにして下さい。

### 3.8 自己評価結果の整理

評価結果を検討し、廃棄物処理に対する評価を行い、改善が必要な項目に対して、改善勧告書を作成して下さい。自己評価結果を「自己評価結果報告書」等としてまとめて文書化して、自己評価に係る他文書類とともに一定期間、保管・管理して下さい。

#### 評価結果の整理と検討

「3.7 自己評価の実施」で行った各種チェックの結果を整理し、目標達成状況と廃棄物処理状況について検討して下さい。

#### 改善勧告書の作成

自己評価の結果、改善の必要があれば、関係する部門や経営責任者に対して改善を促す「改善勧告書」を作成して下さい。

#### 自己評価結果の文書化と保管・管理

自己評価結果を、「自己評価結果報告書」等としてまとめて文書化して下さい。文書化した自己評価結果は、自己評価に用いた記録類とともに、一定期間、保管・管理して下さい。

### 3.9 自己評価システムの見直し

自己評価結果と、自己評価システムの評価結果について、経営責任者は報告を受け、自己評価システムについての見直しを図って下さい。

